



Okawa City Sewage Management Strategy 2022-2031

大川市公共下水道事業経営戦略

【概要版】

[令和 4 年度～令和 13 年度版]

第1章

はじめに

■経営戦略の策定及び改定の背景と目的

公営企業については、保有する資産の老朽化に伴う大量更新期の到来や人口減少に伴う使用料収入の減少等により、経営環境は厳しさを増しており、経営改善の取り組みが求められています。

このような中、本市では平成28年度に「大川市公共下水道事業経営戦略」を策定しました。また、平成31年4月より下水道事業に地方公営企業法を適用したことから、公営企業会計方式により下水道事業の財務状態を明確化した上で、中長期的な視点に立った経営の基本計画である「大川市公共下水道事業経営戦略」を改定します。

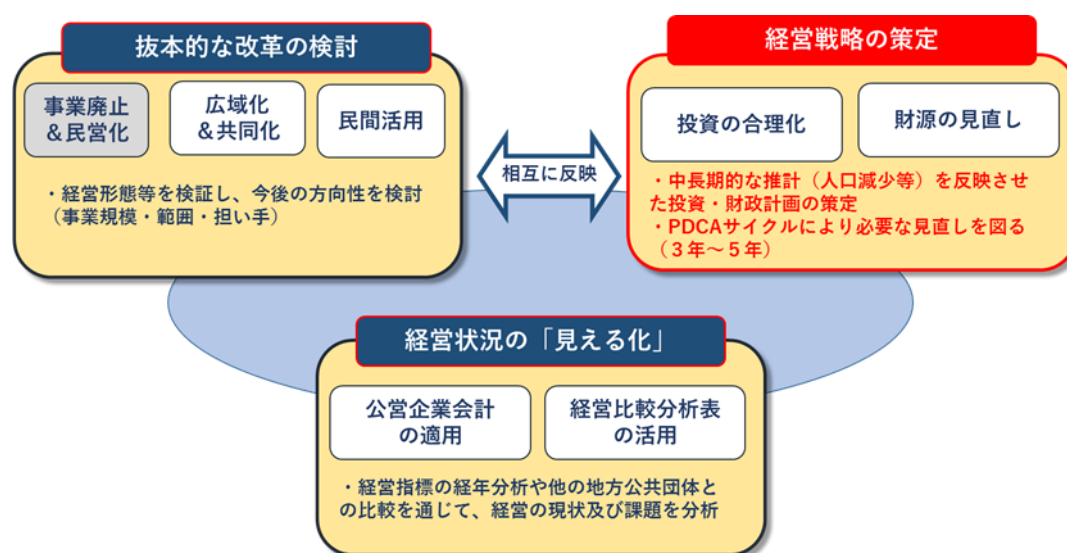


図 公営企業に求められる経営改革の全体像

■計画期間

総務省が示す経営戦略における期間の設定については、「中長期的な視点から経営基盤の強化に取り組むことができるように、計画期間は10年以上を基本とする」という方針から、本計画も「10年間」を計画期間として設定します。

計画期間

令和4年度から令和13年度まで

第2章

下水道事業の現状

■整備の進捗状況

本市の下水道事業は、平成10年3月に当初全体計画を策定し、平成11年9月に事業計画の認可を受け、同年度に事業着手を行ったものです。令和3年度時点において、事業計画面積272ha、全体計画（第1期）面積386haを予定しています。

管きよの総延長約46kmのうち、布設後20年経過している管きよは約3km（約6%）であり、事業着手から供用開始前の平成17年度までに管きよを約27km（約58%）の布設を行っています。

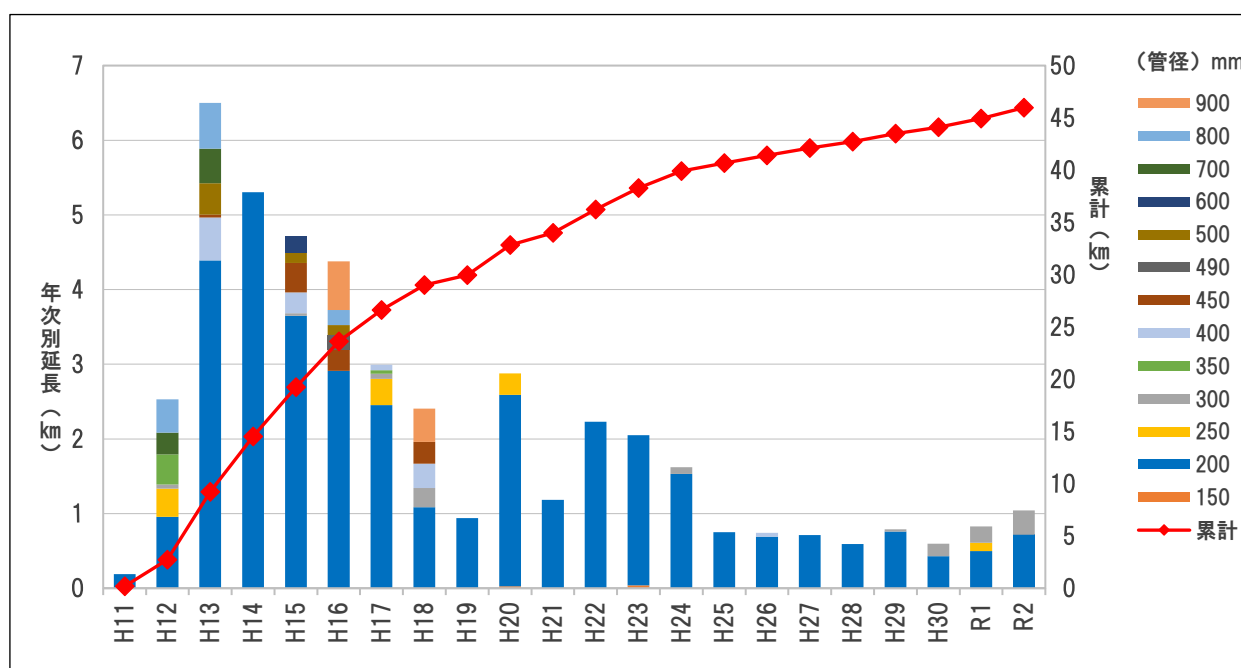


図 管きよの施工年次別延長

整備面積の拡張については、平成26年度以降4haにとどまり、水洗化率の伸びとしては4%以内であります。

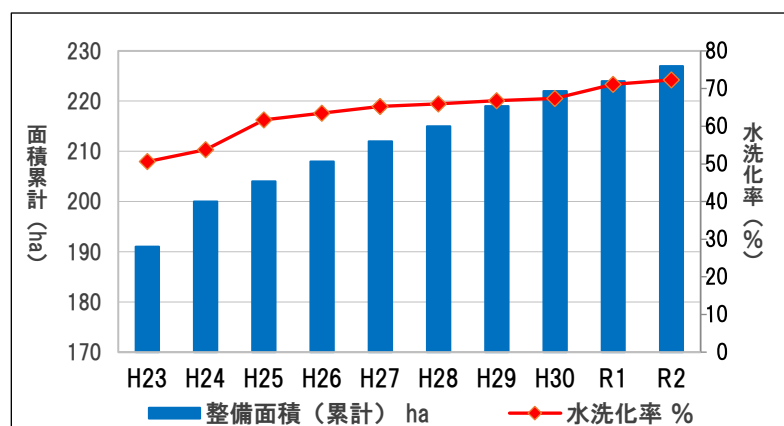


図 水洗化率と整備面積累計の対比

■下水道経営の状況

近年の建設改良費は、年度によってバラツキが見られますが、平成 28 年度、平成 30 年度にポンプ場の建設に伴い 4 億円以上の建設費を投じており、それ以外の年度においては、3 億円以下での管きょ工事が施工されたものです。

一般会計繰入金については、ポンプ場建設の際に多額の受入れを行ったほか、企業債借入の累積によって元利償還費がかさんでいることで増加傾向が続いています。

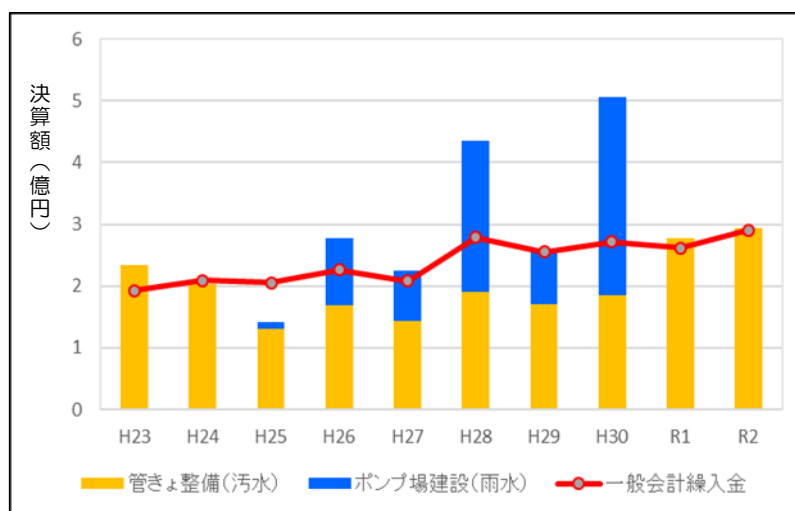


図 建設改良費及び一般会計繰入金の推移

維持管理費は、効率的な汚水処理を実施することにより、微増傾向に抑えています。

下水道使用料は、新規接続者の増加により増収傾向にあります（平成 30 年度の一時的な減少は、企業会計へ移行した際の打切決算の影響です）。

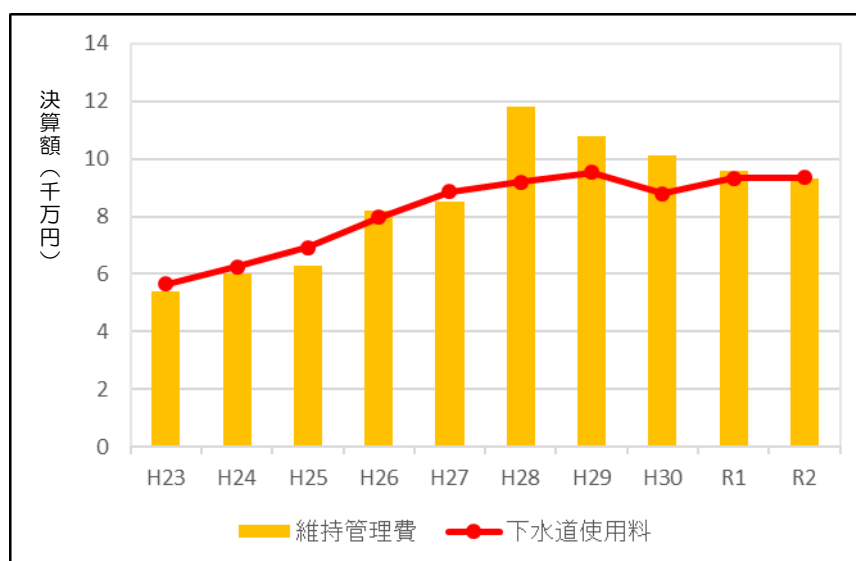


図 維持管理費及び下水道使用料の推移

第3章

理念と経営基本方針

■大川市下水道事業の理念

大川市第6次総合計画に掲げる『ずっと大川　ずーっと大川』を感じられるまちづくりを目指し、河川及びクリークの水質保全、公衆衛生の向上並びに浸水防除の推進によって生活・環境・景観を守る持続可能な下水道事業に向け、次の理念を定めます。

未来に向けて、ずーっと
くらしを支える大川の下水道

■経営基本方針

「普及の継続」と「持続に向けた着手」の2つの取組みを柱とした布設整備の推進や既施設の性能維持と長寿命化を図るための最適化計画を策定し、理念に基づき中長期的な視野で持続可能な下水道事業を進め、「経営基盤の強化」に取り組んでいきます。

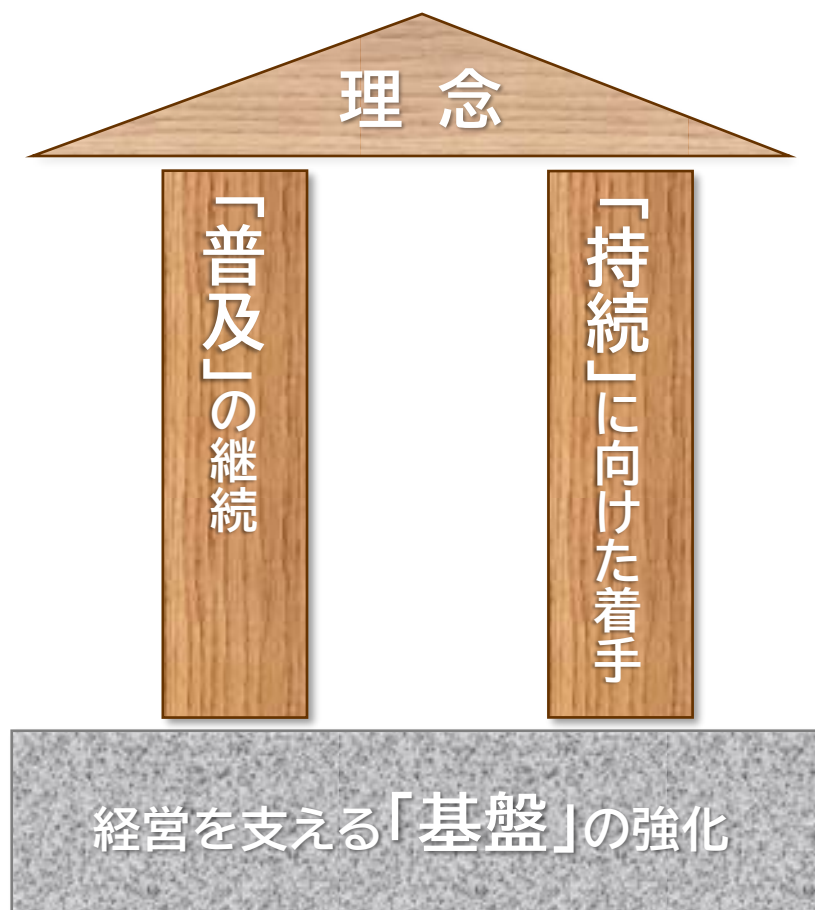


図 経営基本方針

第4章

将来の経営環境

■行政人口の見通し

本市の人口の将来展望を示した『大川市人口ビジョン』において、前提条件の異なる3パターンの推計が示され、大川市総合戦略としてはパターン3（2060年の人口：26,400人）を設定していますが、本経営戦略においては、より厳しい将来推計を行う観点から、パターン2（2060年の人口：16,005人）に基づいて使用料等の将来予測の計画を立てることとします。

大川市将来人口の推計

○パターン1

第1次総合経営戦略策定時の人口将来展望

（2025年に出生率1.8、2035年2.07かつ人口移動が均衡）

○パターン2

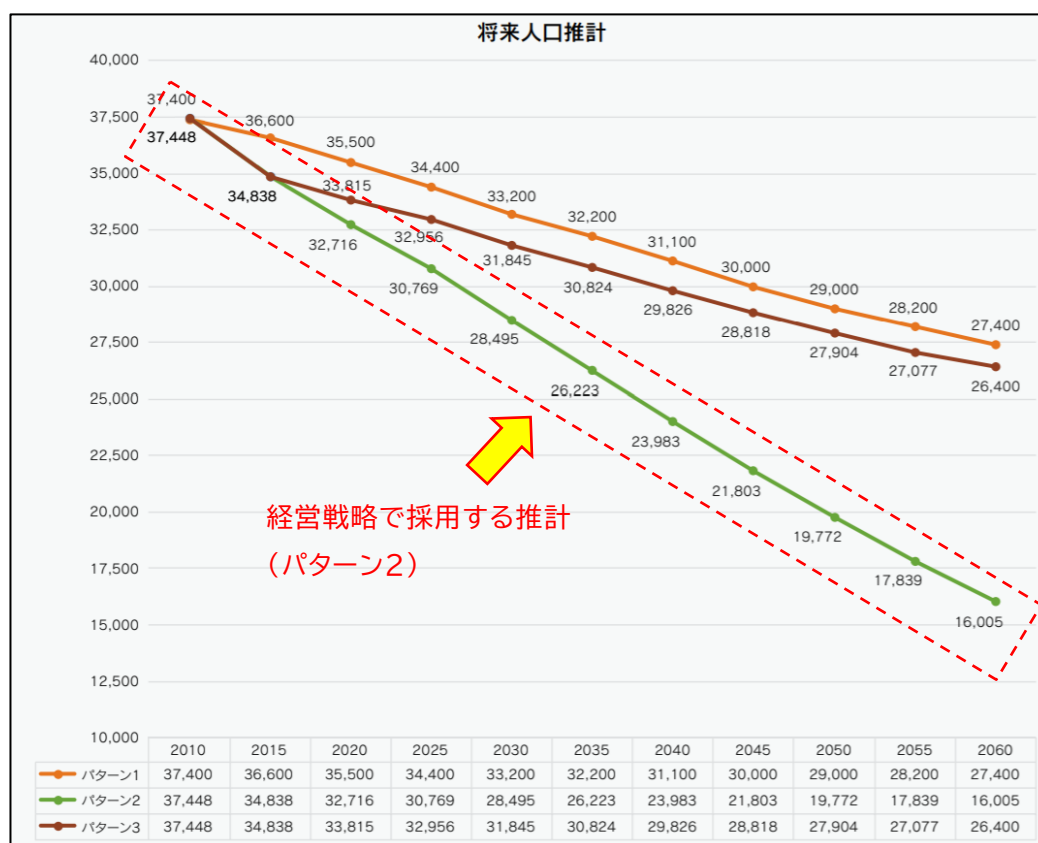
社人研推計（2018年）をベースに2020年の国勢調査見込みを加味した推計

○パターン3

第1次総合経営戦略策定時の人口将来展望

（2025年に出生率1.8、2035年2.07かつ人口移動が均衡）を直近の実績値で推計

図 大川市人口ビジョンの推計パターン（抜粋）



出典：第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

図 公共下水道事業経営戦略で採用する推計

第5章

投資と財源に関する取組み

■投資に関する取組み

(1) 管きょ整備

事業計画の拡大について、未整備区域の減少により事業進捗が望めないため、汚水処理構想で示した区域の一部を取り込み、次期事業計画区域とし計画を進めていきます。また、事業計画は、優先度の高い区域から5～7年の間に財政、執行能力等の点で整備可能な区域について、策定することが望ましいとされています。

(2) 施設の増設

大川市水処理センターは、平成18年の供用開始から15年目を迎え、耐用年数を過ぎた設備など老朽化が進む中、1系列のみの施設であり、主要な機器の故障などにより利用者に対する下水道サービスの維持が困難とならないよう、安定的かつ持続的に提供するため、水処理・汚泥処理施設の2系列目の増設計画を進めていきます。

(3) スtockマネジメント

現設備の老朽化にも効率的・効果的に適切な対応が必要であるため、「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、水処理・汚泥処理施設の増設計画に続いてストックマネジメントの検討を行います。

表 主な投資に関する取組み計画<R4～R13>

施設	区分	事業内容	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	概算事業費 (R4～R13)	事業費合計 (百万円)
管きょ	委託	事業計画業務委託	↔						↔				46	1,420
		管きょ基本設計業務委託		↔						↔			24	
		管きょ詳細設計業務委託			↔						↔		140	
	工事	管きょ整備工事(22ha)	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	1,210	
水処理施設	委託	基本設計業務委託	↔										19	1,769
		詳細設計業務委託		↔									40	
	工事	土木・建設工事			↔	↔	↔						430	
		機械・電気設備工事				↔	↔						900	
汚泥処理施設	委託	基本設計業務委託				↔							10	350
		詳細設計業務委託					↔						20	
	工事	機械・電気設備工事						↔	↔				350	
改築	委託	全体計画業務委託					↔						40	180
		実施計画業務委託						↔					20	
	工事	改築に係る委託及び工事							↔	↔	↔	↔	120	

■財源に関する取組み等

「第3章 理念と経営基本方針」に掲げた目標達成のため、期間中の具体的な施策及び取組みは以下のとおりです。

表 財源に関する取組み等

事業の目標	施策	取組み
普及の継続	①財源確保	1 国庫補助金の活用
		2 適切に算定した一般会計繰入金の確保
	②水洗化率の向上	1 水道メーター検針票での接続検討依頼
		2 無断接続確認調査
		3 戸別訪問による接続検討依頼
		4 啓発物品の配布などによる広報活動
持続に向けた着手	①企業債の運用	1 据置期間の短縮や元金均等払いの活用を検討
		2 「資本費平準化債」及び「下水道事業債(特別措置分)」の活用継続
経営基盤の強化	①収入の安定確保	1 口座振替の推進
		2 スマートフォン用アプリ納付(キャッシュレス決済)の導入
	②組織体制の強化	1 再任用職員の活用による知識・技能の蓄積
		2 日本下水道事業団の活用による新たな技術力を確保
	③その他の取組み	1 広域化・共同化の検討
		2 官民連携の検討

第6章

投資・財政計画

令和4年度から令和13年度までの投資・財政計画の内、主要な項目の将来見通しは、以下のとおりです。

■下水道使用料、一般会計繰入金（污水）の将来見通し

管きよ整備による水洗化率向上を見込み、下水道使用料収入は増加の見通しとなっています。

一般会計繰入金（污水）については、過度な企業債借入の抑制等収支均衡を図る取り組みの実施により、概ね横這いで推移する見通しです。

①下水道使用料、一般会計繰入金（污水）の推移

（単位：百万円）

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	10年合計
下水道使用料	95	98	100	102	103	105	107	108	109	110	1,037
一般会計繰入金（污水）	313	295	298	330	337	292	339	307	315	322	3,148

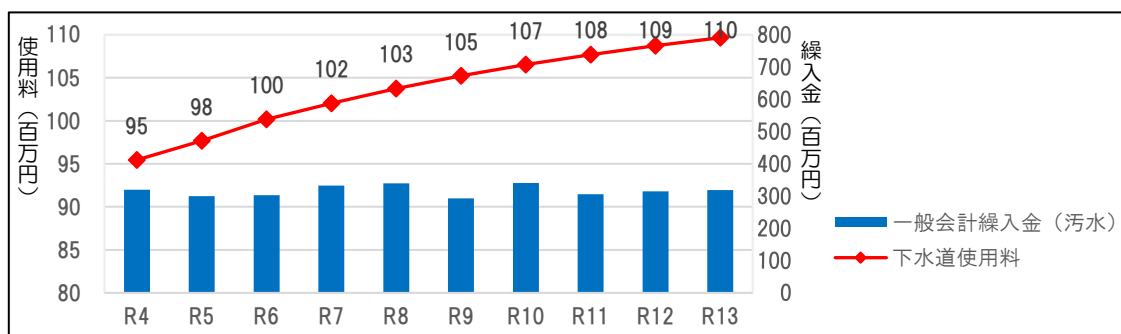


図 下水道使用料、一般会計繰入金（污水）の将来見通し

■元金償還金、新規借入及び企業債残高の将来見通し

水処理センター増設工事のため一時的に借入が増加しますが、それ以外の年度では新規借入額を同年度の元金償還金の範囲内に収める財政規律を遵守することにより、本計画最終年度（令和13年度）では本計画初年度（令和4年度）に対し、約6.7億円企業債残高を減少させる見通しです。

②元金償還金、新規借入及び企業債残高の推移

（単位：百万円）

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	10年合計
元金償還金	318	338	362	379	394	418	435	436	450	422	3,952
新規借入	183	192	269	436	465	341	369	284	310	293	3,142
企業債残高	4,897	4,751	4,658	4,715	4,786	4,709	4,643	4,491	4,351	4,222	

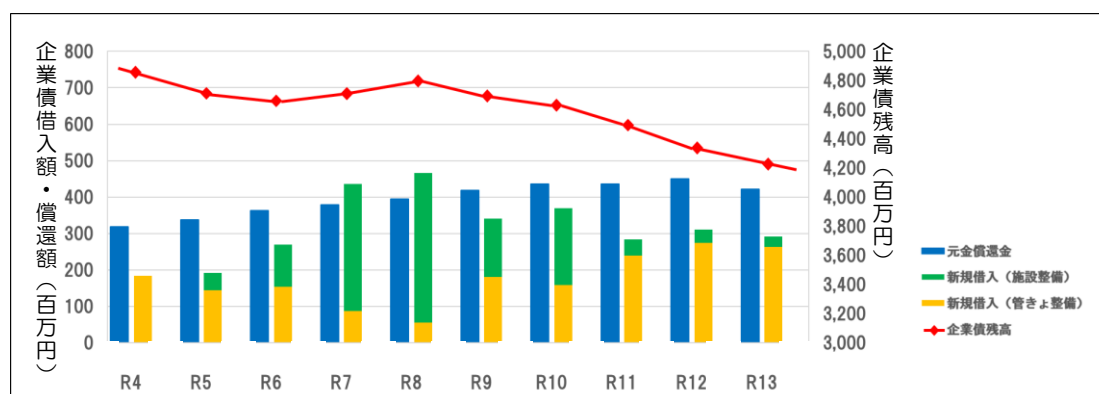


図 元金償還金、新規借入及び企業債残高の将来見通し

■その他収益・費用等の将来見通し

③維持管理費（污水）の推移

(単位：百万円)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	10年合計
污水維持管理費	98	90	92	94	96	98	97	99	100	102	966

④資本費（污水）の推移

(単位：百万円)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	10年合計
污水支払利息	66	64	60	58	57	56	53	51	48	44	557
污水減価償却費（長期前受金戻入控除）	149	144	142	142	132	121	143	145	156	157	1,431

⑤一般会計繰入金の推移

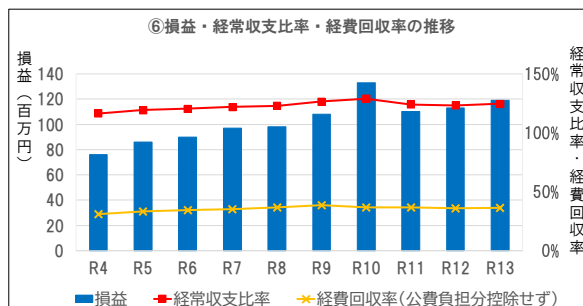
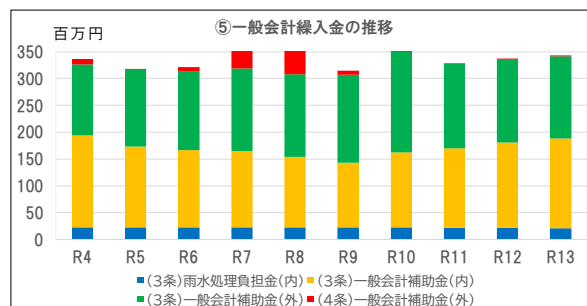
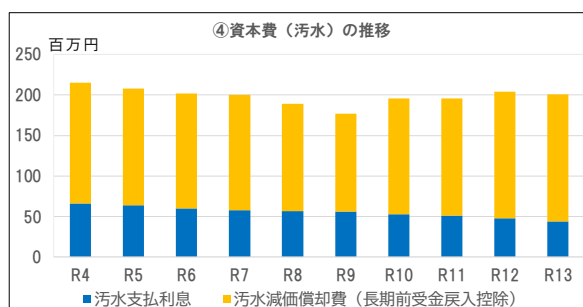
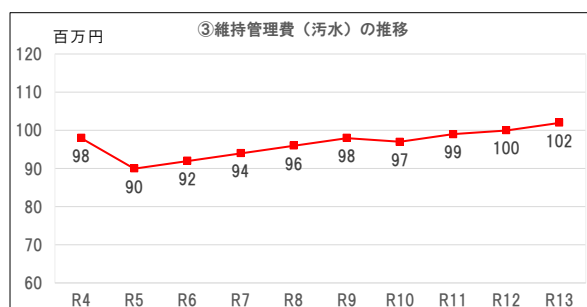
(単位：百万円)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	10年合計
(3条) 雨水処理負担金（内）	23	23	23	23	23	23	23	22	22	21	226
(3条) 一般会計補助金（内）	171	150	144	142	131	120	139	148	159	167	1,471
(3条) 一般会計補助金（外）	132	143	147	154	154	164	188	158	155	153	1,548
(4条) 一般会計補助金（外）	10	2	7	34	52	8	12	1	1	2	129
合計	336	318	321	353	360	315	362	329	337	343	3,374

⑥損益・経常収支比率・経費回収率の推移

(単位：百万円、%)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	10年合計
損益	76	86	90	97	98	108	133	110	113	119	1,030
経常収支比率	116.3%	119.2%	120.5%	122.0%	122.9%	126.5%	128.9%	124.1%	123.3%	124.5%	
経費回収率（公費負担分控除）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
経費回収率（公費負担分控除せず）	30.9%	33.2%	34.4%	35.1%	36.8%	38.7%	36.6%	36.8%	36.0%	36.2%	



第 7 章

経営戦略の事後検証等

■経営戦略の見直しの方針

経営戦略に基づく事業の進捗管理（モニタリング）を毎年度行うとともに、“PDCA サイクル”を働かせることで軌道修正を図り、定期的（概ね 5 年ごと）に見直し（ローリング）を行い、併せて住民への「情報公開」も行っていきます。

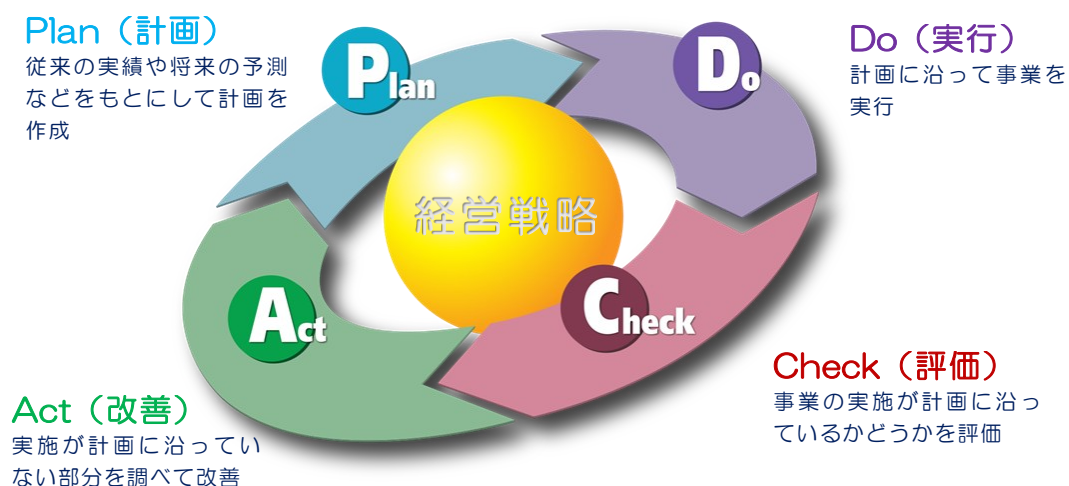


図 7-1 PDCA サイクル概念図

■経費回収率向上に向けたロードマップ

下水道事業における経費回収率の向上に向けたロードマップを以下に示します。

本市下水道事業はすでに経費回収率 100%を達成しており、計画期間中においても 100%で推移する見込みです。

毎年度のモニタリングを経て、おおむね 5 年後に経営戦略を改定する際、下水道使用料に関しては、他の財源確保や支出削減に注力することで利用者負担を最小限に抑えることを基本とし、必要に応じて下水道使用料の在り方を検討することとします。

表 経費回収率向上に向けたロードマップ

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
経費回収率(計画値)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
各種見直しスケジュール	事業計画 見直し				経営戦略 改定	(必要に応じて) 使用料水準の見直し				経営戦略 改定

大川市公共下水道事業経営戦略【概要版】

[令和 4 年度～令和 13 年度版]



お問い合わせ先

〒831-8601 福岡県大川市大字酒見 256 番地 1

大川市役所上下水道課

電 話：0944-85-7019（直通）

FAX：0944-87-2108